

「9月1日は防災の日」 備えあれば、憂い無し

問 総務課防災係 ☎ ⑤6703

「防災の日」は、大正12(1923)年の9月1日に発生した「関東大震災」を教訓に、広く国民が災害に対処する心構えを準備することとして、昭和35(1960)年に制定されました。また、この時期は台風の襲来が多いとされる時期であることから、災害への備えを怠らないようにとの戒めも込められています。

日ごろから備えられること

- 地震の際に転落や落下の恐れがある家具や電化製品を固定したり、高い所に物を置かないなどの対策をとり、けがを防ぎましょう。
- 防災マップ、ハザードマップ、市ホームページなどで災害の危険がある所や、自宅、学校、職場などからの最寄りの避難所と避難経路を確認しておきましょう。
- 地域の人たちと災害について話し合い、地域の防災について考えましょう。

非常時の持出品の確認

- 災害の発生や、避難所に避難する際に備え、非常時の持出品を準備しましょう。
- 持出品は、家族構成や各家庭の事情にあわせて必要なものを準備しましょう。
- 保管場所は、非常時に慌てて探すことがないように目につく場所に置きましょう。



避難するときを持って行くもの(例)
▶ 貴重品…現金、印鑑、保険証、預金通帳など。そのほか、身分を証明できる物
▶ 衣類・洗面道具…下着、くつ下、厚手の上着、眼鏡、歯みがき道具、タオル、せっけん、シャンプー、女性用品、紙おむつなど
▶ 水・食料品…飲料水、非常食、粉ミルクなど
▶ その他…懐中電灯、携帯ラジオ、電池、軍手、ライター・マッチ、ティッシュ、使い捨てカイロ、雨具、救急医療品、常用薬など
備蓄しておくもの(例)
▶ 懐中電灯 ▶ ラジオ ▶ 電池 ▶ ろうそく
▶ 簡易ガスコンロ ▶ 使い捨てカイロ
▶ 食料と1人1日3リットルの飲料水(3日分を目安に)
※赤ちゃん、高齢者、女性、持病・アレルギーのある人などがあるご家庭では、それぞれの人に必要な物を備蓄しておくようにしてください。

災害が起これたら

- 慌てずに、まずは自分の身を守る行動をとりましょう。
- ラジオ、テレビ、携帯電話などから正確な情報を入手しましょう。
- 避難をするときには、火の始末を確認し、ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切ってから落ち着いて行動しましょう。
- 大雨、夜間などで外に出ることが危険な場合には、無理に外に出ず、家の中の高いところや安全なところで身の安全を守りましょう。

新庁舎建設に伴うお知らせ

市役所駐車場の利用が制限されています

新庁舎建設工事に伴い、市役所駐車場の利用が大幅に制限されています。

市役所に来庁される人は、中央駐車場(市役所南側)を無料としますので、そちらをご利用下さい。

中央駐車場を無料で利用するためには、平日業務時間内に市役所各課窓口で配布する無料券が必要ですので、お帰りの際は、忘れずに受け取ってください。

なお、身障者用駐車場のある新館北側の駐車場は、そのままご利用になれます。

工事期間中は、大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問 新庁舎建設室 ☎ ⑤ 6728

